

ーコミュニケーション支援を考えるー

やりたい
活動



能力を
引き出すための
アセスメント



実現方法の
検討

障害のある方の身体機能は、加齢や二次障害により変化することがあり、それまで使えていたコミュニケーション手段が使えなくなることも少なくありません。

今回、脳性麻痺の方の実践から、「やりたい活動」を維持するために、身体機能の変化に応じたコミュニケーション支援の視点について学びます。当日は、当事者と担当する訪問リハビリテーションの作業療法士の方にもご参加いただき、実際の身体機能や動作の特徴を観察しながら、どのように条件を整理し、支援につなげていくことで「やりたい活動」の実現を支えられるのかを参加者の皆さんと一緒に考えます。

当事者の思いや実際の姿から学べる貴重な機会です。ご参加をお待ちしています。

2026年 **12月5日** (土) 14:00~16:30

- 場 所：石川県リハビリテーションセンター 4階大研修室
- 対 象：リハビリテーション専門職、福祉用具供給業者等
- 申込み：石川県電子申請システム（右下QRコード）から申し込み
- 締 切：2026年12月1日(火)
- 参加費：無料

(一社)日本作業療法士協会の基礎研修ポイント対象
(1ポイント)の研修会となります。

— 内容 —

1. 事例の紹介(実際に当事者を観察しながら)
2. グループワーク

助言者：当事者（脳性麻痺）

リハケア芦城 酒井 広勝 氏（作業療法士）

石川県リハビリテーションセンター

住所：石川県金沢市赤土町二13-1

TEL：076-266-2860 MAIL：sien@pref.ishikawa.lg.jp

申し込みURL：<https://ttzk.graffer.jp/pref-ishikawa/smart-apply/apply-procedure-alias/stepupcommu>

申し込みQRコード

